ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成31（2019）年
1月26日発行
第33号

夢のふくらむ学校

進級・進学に際して思うこと

写真と本文とは関係がありません。



W校幼児部たこ揚げ



ＬＩ校中高等部書き初め授業

進級・進学の最終意思表示については、今月末締め切りとなっています。近年補習校が抱える課題の一つに、日本語よりも英語の方が堪能な子どもの増加が上げられます。幼児部でも家庭において日本語より英語が主になっていたり、学年が上がるにつれて在米期間が長くなった子どもが、補習校の授業中でも英語で私語をしたりするという光景をしばしば目にするところです。先日、幼児部の親子活動中に、お母さんがお子さんに英語で注意したり、話しかけたりする場面を見かけました。英語での会話が常態化しているのでしょうか？中高等部の百人一首大会では、競技中も英語での会話が聞こえました。日本の伝統行事の最中です。ここはひとつ、日本語で頑張ってほしいと思いました。

このような現実に直面したとき、今、補習校は大きな岐路に立たされていると感じざるを得ません。補習校はいったい誰のために、そして何のためにあるのでしょうか。日本の高度成長に伴って外国に進出した日本企業の駐在員の帯同子弟が、帰国した時のためのソフトランディング機能を第１の目的とした時代は、終わろうとしているのでしょうか。多様化する子どもの背景とそれに伴い多岐にわたるニーズに、補習校としても常にアンテナを高く掲げながら、対応していくことの必要性を感じています。学級の子ども全員が「分かる、できる、そして楽しい」授業となるよう、教育指導に当たるよう心がけています。大方のご指導やご助言を乞う次第です。

バイリンガルやマルチリンガルの子どもたちの可能性は無限です。補習校に通う子どもたちが世界で活躍できるよう、彼らの資質能力を最大限に伸ばしていきたいと強く思います。どうか、強い意志で補習校での学習や活動に取り組んでください。努力は人を裏切りません。一緒に乗り越えていきたいものです。

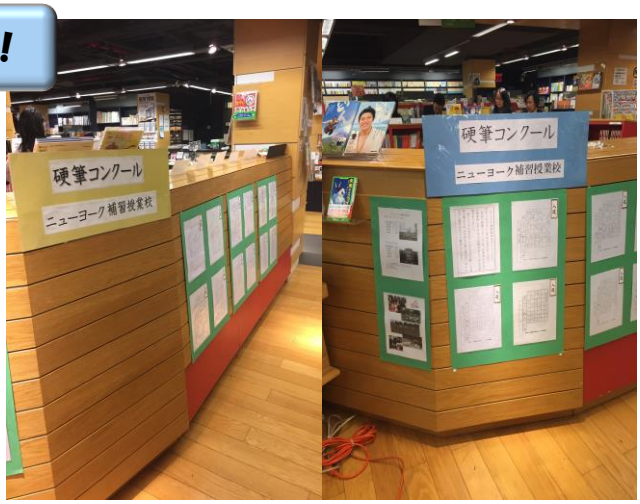
硬筆コンクールの作品を紀伊國屋書店に展示中！

「第４３回硬筆コンクール入選者」４７名の作品を、紀伊國屋書店（ニューヨーク店）様のご厚意により、同店地階の児童書コーナーに展示させていただきました。

２月７日まで展示してありますので、お誘い合わせの上ご来場・ご高覧いただきますようご案内申し上げます。

（1073 6th Ave, New York, NY 10018　電話(212) 869-1700）

なお、営業時間は日曜日１１時～１９時３０分、それ以外は１０時～２０時となっています。



お 知 ら せ

ＩＣＵ（国際基督教大学）説明会（＠ＬＩ校）について

２月16日午前10:00(予定)よりLI校音楽室にて、ICU（国際基督教大学）が保護者向け学校説明会を行います。（LI校保護者会主催） つきましては、W校保護者の方で参加を希望される場合は、W校主幹福田までご連絡ください。